

# 図書館からのおすすめの本

中学生のみなさんにおすすめの本を紹介します！

書名：異界から落ち来る者あり 上・下  
(大江戸妖怪かわら版 1・2)

著者名：香月 日輪こうつき ひのわ // 著  
出版社：理論社  
出版年：2006年

奇妙な妖怪たちが、平和に暮らす魔都、大江戸。そんな妖怪都市で唯一の人間で、「大首のかわら版屋」の記者である雀(すずめ)にとっては、見るもの聞くもの、すべてがおもしろ話！日夜取材にかけめぐる雀の元に、ある日、自分と同じく“落ちてきた”人間の少女が現れて……。他、シリーズ全7巻。心があたたかくなる物語たちです。

書名：学生との対話  
著者名：小林 秀雄 // 講義 国民文化研究会 // 編  
新潮社 // 編  
出版社：新潮社  
出版年：2014年

20世紀の日本を代表する批評家・小林秀雄の講義と、その後の学生たちとの質疑応答を収めた本です。学びとは、よく生きるためにすることであり、そしてそれは本来楽しいものだということを教えてくれます。中学生のうちに読めば、きっと有意義な青春時代を送れることでしょう。小林秀雄は言います。「学問をしたいというのは、人間の本能です」

書名：カブキブ！

著者名：榎田 ユウリえだ // 著  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2013年

主人公である高校一年生のクルス君は、祖父の影響で歌舞伎に興味を持ち部活でやるのができないかと、「カブキ部」を設立する。目標のために頑張る青春小説。

書名：ことばハンター  
国語辞典はこうつくる

著者名：飯間 浩明いいま ひろあき // 著  
出版社：ポプラ社  
出版年：2019年

国語辞典といえば、思い浮かぶ言葉は「重い」？いえいえ、勉強する時、普段の生活の中で言葉を調べる時、なくてはならないのがこの本。たくさんの言葉を集め、説明がされたこの分厚い本。そもそも、どんな人がどんな風に作っているのでしょうか。国語辞典をつくるという仕事について、作者が情熱的に思いをこめて紹介した本です。

このチラシのカラー版は、図書館のホームページにのっています。タブレットで見てね☆

書名：長浜高校水族館部！

著者名：令丈 ヒロ子<sup>れいじょう</sup> // 文

出版社：講談社

出版年：2019年

愛媛県立長浜高等学校。この学校には、生徒が水族館を運営してる水族館部があります。この本は実在する部活動のお話です。水族館部には繁殖に挑戦している繁殖班、イベントや展示を行うイベント班、クマノミなどの研究に取り組み、成果をあげている研究班があります。部員たちが日々の活動をとおして、成長していく姿をどうぞ。



書名：モモ

著者名：ミヒヤエル・エンデ // 作  
大島 かわり // 訳

出版社：岩波書店

出版年：1976年

時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間に取り返してくれた女の子モモのふしぎな物語です。時間を奪われた人々は、余裕を失っていきます。丁寧な仕事をする余裕、日々を生きることの余裕等がなくなったら、つまらなく楽しくないと思います。時間に追われている現代の人々に時間の真の意味を気づかせてくれた作品です。

読みたい本は見つかりましたか？  
本を借りたい時や調べものをする時は、  
ぜひ足利市立図書館に来てね！



## 足利市立図書館

所在地 有楽町832

電話番号 0284-41-8881

休館日 月曜日、第4木曜日、年末年始など

開館時間

火～金曜日 9時～19時

土・日・祝 9時～17時

